



R5. 10. 10

親しんでいたとし「ても」



日本語や日本の文化を学んでいる子どもたちが、国際教室で学習しています。作文ゲームやカタカナかるたをしながら、「～たら」「～ても」を使って、短い文章を作ります。既習の「衣類」や「楽器」の名前を活用したり、それにあった動詞を組み合わせたりしながら、日本語で表現することを楽しんでいます。動詞にあわせて「～たら」「～ても」も変えながらスムーズに表現している姿に、感心させられましたよ。

何十年と使い慣れ親しんでいる言語のはずなのに難しい…ととまどいながらも、一緒に学ばせてもらいました。正しい言葉遣いは永遠のテーマです。